

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	36901
事業名	学校改築費					
評価担当課	所属名	教)生涯学習部 学校施設課				
	課長名	宮野	担当者名	高橋(良)	電話番号	011-211-3835
施策名	主	子ども・若者を社会全体で育成・支援する環境づくり				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	耐震性能及び良好な教育環境を確保する。			
		長期	昭和40年代後半から50年代にかけて建設された学校施設が多く、今後多大な維持更新費用が必要となる。改築需要を平準化しつつ、教育環境を維持するため、年3校程度の改築工事を実施しなければならない。			
	取組内容	耐震性能が低く、老朽化が進んだ学校施設の改築を行う。 中央小:屋外プール改築及びグラウンド造成 新陽小:旧校舎及び屋内運動場解体等 発寒南小:校舎及び屋内運動場改築等、屋内運動場解体等 栄中:旧校舎解体等 本町小:校舎及び屋内運動場改築等、旧校舎解体等 二十四軒小:校舎及び屋内運動場改築等 東山小:校舎改築等、屋外プール解体等 山の手小:旧校舎解体等 元町北小、光陽小、発寒中:実施設計				
実施結果	中央小:屋外プール改築及びグラウンド造成 新陽小:旧校舎及び屋内運動場解体等 発寒南小:校舎及び屋内運動場改築等、屋内運動場解体等 栄中:旧校舎解体等 本町小:校舎及び屋内運動場改築等、旧校舎解体等 二十四軒小:校舎及び屋内運動場改築等 東山小:校舎改築等 山の手小:旧校舎解体等 元町北小、光陽小、発寒中:実施設計					
事業実施における工夫点	保護者や地域住民の代表者等と協議をしながら改築の計画案を策定するとともに、ホームページにて公開し、広く保護者や地域住民から意見を聴いた。					
対象者	児童生徒等	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律 地震防災対策特別措置法					
他都市の状況	他都市においても、人口急増期に建設された学校施設の更新及び耐震性能の確保が大きな課題とされている。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	8,006,694	7,585,000	7,427,491	3,430,000
うち特定財源	4,713,917	4,927,487	5,360,720	3,422,820
人工	3.0	3.0	3.0	3.0
人件費	21,600	21,600	21,600	21,600
計(事業費+人件費)	8,028,294	7,606,600	7,449,091	3,451,600
事業費の内訳	令和3年度決算	・発寒南小学校 校舎及び屋運2年目工事等 2,280,374千円 ・二十四軒小学校 校舎及び屋運2年目工事等 2,481,735千円 ・本町小学校 169,404千円 ・東山小学校 86,185千円 ほか		
	令和4年度予算	・本町小学校 校舎及び屋運2年目工事等 2,516,131千円 ・東山小学校 校舎2年目工事等 1,891,063千円 ・山の手小学校 校舎1年目工事等 481,176千円 ・元町北小学校 校舎及び屋運1年目工事等 293,958千円 ・光陽小学校 校舎1年目工事等 206,361千円 ほか		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	①改築工事完了校数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	2	2	2	1	
	指標名				
活動指標2	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標1	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	耐震性能が低く老朽化が進んでいる学校施設の改築を行うことにより、児童生徒等の良好な教育環境を確保するとともに、避難場所としての防災機能の向上を図ることができた。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	改築事業は文部科学省の補助事業であり、概ね補助資格面積の範囲で必要な整備を行っていることから、事業規模は適切であると考えます。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	事業校の選定にあたっては、耐震性能が低い学校を優先し、建築年度の古い施設からの改築を基本としながら、将来的な学校統合や義務教育学校として改編する学校を考慮した上で、適切な時期に改築を行っていることから、その手法は適切であると考えます。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	耐震性能が低く老朽化が進んでいる学校施設の改築を行うことにより、児童生徒等の良好な教育環境を確保するとともに、避難場所としての防災機能の向上も図ることができることから、対象者のニーズに応えているものと考えます。			
市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input checked="" type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	なし				
前回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円	
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	老朽施設の更新及び耐震性能の確保のため、改築を予定している学校について、事業を計画的に行うことができたため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="radio"/> 改善 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 札幌市学校施設維持更新基本計画に基づき、実施設計、改築工事及びグラウンド造成等を実施する。			
	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 札幌市学校施設維持更新基本計画に基づく事業校数について予算要求する。 なお、義務教育学校の新設及び学校統合等、1校当たりの事業費が改築事業費と同程度の規模の事業実施が必要な場合、改築事業校		見直し効果額	0 千円